Adobe Acrobat Reader DC 2019バージョン導入方法資料

本資料は、DocWays環境構築時にAdobe Acrobat Reader DCを導入する方法をお知らせすることを目的とした参考資料です。 将来、Adobe社の発表やAdobe Acrobat Readerの仕様変更により変更になる場合がございますのでご承知おきください。

①下記アドレスをエクスプローラーで開きます。 <Adobe社のFTPサイト>

ftp://ftp.adobe.com/pub/adobe/reader/win/AcrobatDC/1902120058/

····································			Ttp.ao	ope.com v) 1902120	1008 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12
名前	サイズ	種類	更新日時	作成日時	アクセス日時
AcroRdrDC1902120058_de_DE.exe	172,255 KB	アプリケーション	2019/12/05 16:58	2019/12/05 16:58	2019/12/05 16:58
AcroRdrDC1902120058_en_US.exe	171,728 KB	アプリケーション	2019/12/05 16:58	2019/12/05 16:58	2019/12/05 16:58
AcroRdrDC1902120058_es_ES.exe	171,927 KB	アプリケーション	2019/12/05 16:58	2019/12/05 16:58	2019/12/05 16:58
AcroRdrDC1902120058_fr_FR.exe	171,780 KB	アプリケーション	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59
AcroRdrDC1902120058_ja_JP.exe	180,612 KB	アプリケーション	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59
AcroRdrDCUpd1902120058.msp	235,452 KB	Windows インストーラ	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59
AcroRdrDCUpd1902120058_MUI.msp	133,156 KB	Windows インストーラ	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59	2019/12/05 16:59

②開いたパスに"AcroRdrDC1902120058_ja_JP.exe"がありますので、ローカルに保存します。

保存した"AcroRdrDC1902120058_ja_JP.exe"をダブルクリックし、Adobe Acrobat Reader DC 2019Jのインストールを行います。

インストーラーの案内に沿ってインストールを進めます。

インストール完了後、Adobe Acrobat Reader DCはまだ起動しないでください。

③インストール完了後、Adobe Acrobat Reader DCの自動アップデートを抑止する設定を行います。

下記URLにAdobe Acrobat Reader DCが自動アップデートされないように設定する方法が記載されておりますので、ご参照の上ご設定ください。

<Adobe社のサイト>

https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/cq05201026.html

設定箇所は「D. Acrobat DC/Acrobat Reader DC アップデート機能の無効化・メニュー項目の非表示」-「Windows」をご参照ください。 設定に使用するレジストリエディターの起動方法や注意点の情報は、

「B. Windows 版 Acrobat DC/Acrobat Reader DC の自動アップデート時の挙動設定」をご参照ください。

④Adobe Acrobat Reader DCを起動し、使用許諾確認に対して[同意する]ボタンをクリックします。

ADOBE パーンナルコンピューターンフトウェア使用許諾契約書 1. 保証の免責、拘束力のある契約あよび追加条件と合意 1.1 保証の免責、本ンフトウェアおよび他の情報は、「そのままの状態」で、かつ瑕疵を問わない条件で提供されます。 アドビとそのサブライヤーおよび認識機関は、本ンフトウェア、認識機関のサービスまたは他の第三者の提供物を使用することにより得られる性能または結果を保証せず、また保証できません。ただし、ユーザーの所在地の法律上排除また されていていていていたい。それ、それ、それ、まない、海については、この限りではありません。アドビ、そのサブライヤーまた は認証機関は、第三者の権利の非侵害、商品性、統合、満足できる品質、またはお定の目的への適合性を制限なく含 めた全ての事項に関するすべての保証、条件、表明、または条項(9月示的文化のかも聞わない)を一切提供しません。 なったのか、普通法によるものか、使習によるものか、使用になるものかも問わない)を一切提供しません。 第14回と第16条の規定は、いかなる理由によって本契約が終了した場合でもその効力が存続しますが、本契約 終了後における本ソフトウェアの使用を継続する権利応示唆または一部を使用、複製または配布した場合は、特に以下の 制限を含む本契約上のすべての条件に同意したものと見なされます。 ・使用(第3条) 選進可能性(第5条) 選続などうライバシー(以下を含む第7条) ・マンプート ・フルストレージ 設定マネーシンテー ・ビア支援型ネットワークテクノロジー ・フェング保護技術 ・アドビスフク・ワナービスの使用 (第10条あよび第17条)		「同意する」ボ	タンをクリックして使用許諾契約	り書に同意し、操作を続行し	します。	
1.保証の免責、拘束力のある契約および追加条件と合意 1.1保証の免責、本ソフトウェアおよび他の情報は、「そのままの状態」で、かつ瑕疵を問わない条件で提供されます。 アドビそのサブライヤーもびる認証機関は、本ソフトウェア、認証機関のサービスまたは他の第三者の提供物を使用す ることにより得られる性能または結果を保証せず、また保証できません。ただし、ユーザーの所在地の法律上排除また よ制限のない国の保証、条件、表明、および条項については、この限りではありません。アビ、そのサブライヤー、また は認証機関は、第三者の権利の非得害、商品性、統合、満足できる品質、または特定の目的への適合性を制限なく含 物た全ての事項に関するすべての保証、条件、表明、または条項(明示的なものかを問わず、また、制 定法によるものか、普通法によるものか、慎固によるものか、使用法その他によるものかも問わない)を一切提供しませ 4、第 1条1の全親の規定は、いかなる理由によって本契約が終了した場合でもその効力が存続しますが、本契約 終了後における本ツフトウェアの使用を継続する権利応示唆または一部を使用、複製または配布した場合は、特に以下の 制限を含む本契約上のすべての条件に同意したものと見なされます。 - 使用(第3条) 選続あびプライバシー(以下を含む第 7条) - - - - - - - - - - - - -	ADOBE パーソナルコンビュ	<i>、</i> ーターソフトウェア	'使用許諾契約書			
1.1 保証の免責 本ソフトウェアおよび他の情報は、「そのままの状態」で、かつ瑕疵を問わない条件で提供されます。 アドビとそのサブライヤーおよび認識が機関は、ホソフトウェア、認識が機関のサービスまたは他の第三者の提供物を使用す ることにより得られる性能または結果を保護1世ず、また保証できました。ただし、ユーザーの所在地の法律と引除また ま制限のない国の保証、条件、表明、および楽項については、この限りではありません。アドビ、そのサブライヤー、また ま認識が関は、第三者の種料の非侵害、商品性、統合、満足できる品質、または特定の目的への適合性を制限なく含 物た全ての事項に関するすべての保証、条件、表明、またはネ項(明元)的なものかを問わす、また、制 定法によるものか、普通法によるものか、情智によるものか、使用法その他によるものかも問わない)を一切提供しませ ん。第1条1項と第10条の規定は、しかなる理由によって本契約が終了した場合でもその効力が存続しますが、本契約 終了後における本ソフトウェアの使用を継続する権利を示唆または付与するものではありません。 1.2 <u>や皮力のある契約</u> アドビソフトウェアの全部または一部を使用、複製または配布した場合は、特に以下の 制限を含む本契約上のすべての条件に同意したものと見なされます。 - (使用(第3条) 識濃可能性(第5条) 繊濃可能性(第5条) 繊濃可能性(第5条) - ローカルストレージ - ジェアーシー - レーカレストレージ - ジェアーシー - ジェアン保護技術 - アドブコンライングサービスの使用 - 保証の免責(第1条1項) - 保証の免責(第1条1,370)	1.保証の免責、拘	東力のある契約お	よび追加条件と合意			
12 <u>12 10 束力のある契約</u> アドビソフトウェアの全部または一部を使用、複製または配布した場合は、特に以下の 制限を含む本契約上のすべての条件に同意したものと見なされます。 - (使用(第3条) - 2 <u>ップデート</u> - <u>2ップデート</u> - <u>ローカルストレージ</u> 設定マネージャー - <u>ビア支援型ネットワークテクノロジー</u> - <u>2ンテンツ保護技術</u> - <u>アドビオンラインサービスの使用</u> - <u>保証の免責</u> (第1条1項) - <u>責任の制限</u> (第10条および第 17条)	1.1 保証の免責 アドビとそのサブラー ることにより得られる は制限のない国のは は割認識機関は、第三 めた全ての事項に限 定法によるものか、 ん。第1条1項と第11 終了後における本ン	本ソフトウェアおよび (ヤーおよび認証計解的)性能または結果を 実証、条件、表明、ま こ者の権利の非侵害 費するすべての保証 普通法によるものか 9条の規定は、いかが ワトウェアの使用希	他の情報は、「そのままの 類は、本ンフトウェア、認証 保証せず、また保証できま らよび条項こついては、こ 6、商品性、統合、満足でき 、条件、表明、または条項 、体間によるものか、使用 なる理由によって本契約が 継続する権利を示唆または	い状態」で、かつ瑕疵者間 機関のサービスまたは代 せん。ただし、ユーザー の限りではありません。7 等る品質、または特定の (明示的なものか黙示留) 法その他によるものかち 添くした場合でもそのな 、付与するものではありま	わない条件で提供 也の第三者の提供 の所在地の法律上 マドビ、そのサプラム 目的への適合性を 切なものかを問わず 問わない)を一切 力が存続しますか こせん。	されます。 物を使用す 排除また イヤー、また 制限なく含 、また、制 その、 また、制 その、 本契約
 使用(第3条) 譲渡可能性(第5条) 譲渡可能性(第5条) 「20プデート ローカルストレージ 設定マネージャー ビア支援型ネットワークテクノロジー コンテンツ保護技術 アドビオンラインサービスの使用 保証の免責(第1条1項) 責任の制限(第19条および第17条) 	1.2 <u>拘束力のある</u> 募 制限を含む本契約	<u>認約</u> アドビソフト! 止のすべての条件	ウェアの全部または一部 れに同意したものと見なさ	を使用、複製または配 れます。	布した場合は、特	制に以下の
	使用(第3条) 識慮可能性(第5) 接続およびフライバ ローカルストレージ 設定マネージャー ビア支援型ネットワ コンテンツ保護技術 アドビオンライング 保証の免責(第1) 責任の制限(第1)	条) <u>シー</u> (以下を含む <u>クテクノロジー</u> <u>-ビスの使用</u> 条11項) ◎案および第 17条)	第 7条)			

⑤Adobe Acrobat Reader DCの[編集] - [環境設定]を押下し開いた画面で、	「分類」の[セキュリティ(拡張)]を選択し、
[起動時に保護モードを有効にする]チェックボックスの状態をOFFにします。	0

アイル	編集 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ	(H)
t−⊿	う 元に戻す(1)	Ctrl+2
	C やり直し®	Shift+Ctrl+2
ファ	切り取り山	Ctrl+X
最近	回日コピーの	Ctrl+c
送信	貼り付け(e)	Ctrl+V
	削除(<u>D</u>)	
スト	すべてを選択山	Ctrl+A
বন	選択を解除(E)	Shift+Ctrl+A
Doci	ファイルをクリップボード	(CD E-(B)
アカ	■ スナップショット(A)	
	スペルチェック(K)	
	Q 簡易検索(b)	Ctrl+I
	高度な検索≥	Shift+Ctrl+F
	保護①	×
	アクセシビリティの	
	ツールを管理(<u>M</u>)	



⑥[ヘルプ] - [Adobe Acrobat Reader DCについて]を選択し、2019.xxx.xxxxバージョンであることを確認後、Adobe Acrobat Reader DCを終了します。

